

～未来へ、選択の覚悟～

年末、国の防衛副大臣らが来島し、馬毛島の土地の取得状況をふまえ、自衛隊基地を整備したいとの方針を述べました。ただ、要員配備規模や施設整備の内容は、一般論だけで、具体的には示されていません。

また、米空母艦載機着陸訓練(FCLP)については、引き続き候補地だと説明しています。

馬毛島の自衛隊施設建設は、まだ決まっています。

国は、土地取得が六割余り進み、環境調査をしたい。さらに施設整備による環境影響評価をして適否を判断し、具体的な整備計画を示して、地元の理解が得られたら工事に着手したい。そんな流れだと判断します。

そもそも馬毛島への自衛隊配備は、FCLPの恒久的施設を管理するのが目的です。ところが国は、自衛隊配備のイメージを前面に出し、核心のFCLPがボカされ、なし崩し的に整備に進みかねない気配です。

FCLPは騒音被害や自然環境への悪影響の懸念から、米国本土でも、遠隔地訓練場(OLF=Outlying Landing Field)の建設に反対運動が起きています。

私は、市長選でFCLP施設反対を唱えて当選しました。馬毛島にふさわしい利用法をFCLP以外に追求する考えは、一切変わっていません。

FCLP施設建設に賛同する声は、人口増や経済効果を期待してのことです。市長として、賛成、反対、それぞれの考えに至る市民の心情を思います。

どちらにも、得るもの、失うものがあります。

住民の対立による地域社会の分断、破壊は不毛です。

今、静かな島の環境を求める移住が、じわじわと増えています。先祖代々のふるさとを未来の子孫に引き継ぐ重大な選択へ、しっかり責任を果たす覚悟です。

西之表市長 八板俊輔

～馬毛島問題～

2019.12.25 発行

防衛副大臣が本市を来訪

去る12月20日に山本防衛副大臣が本市を来訪し、米軍空母艦載機離着陸訓練(FCLP)の候補地とされている馬毛島の土地取得に係る現状や今後の方針等について、市長及び議長へ説明しました。

冒頭、副大臣はあいさつで、馬毛島の約63%の土地を取得し、馬毛島における自衛隊馬毛島基地(仮称)の整備方針を確認したことと、今後、自衛隊の利用計画やFCLP施設設置の検討のための現地調査の説明に伺ったことを述べました。

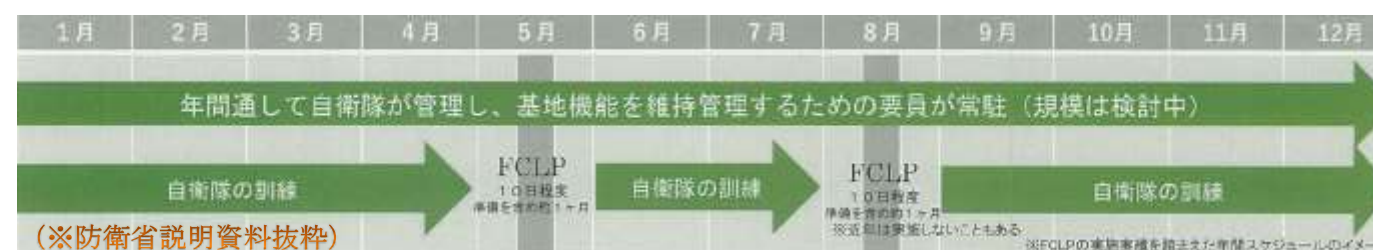
その後、防衛省から配付された資料に基づき説明がなされました。説明概要については以下のとおりです。(※防衛省説明資料は市ホームページに掲載…資料が必要な方は企画課までお越しください。)

(※馬毛島の土地取得を説明する防衛副大臣ら)



(防衛省説明概要)

- 本年1～3月末に実施した現地調査等の結果、現段階で自衛隊施設を馬毛島に整備することは可能と判断
(防衛省の方針として)
 - ⇒ 馬毛島に自衛隊馬毛島基地(仮称)を整備
 - ⇒ 施設整備の検討に必要な測量・ボーリング調査等の実施
 - ⇒ FCLP施設としては引き続き候補地との考え
- 安全保障や大規模災害時の対応のため、馬毛島に自衛隊施設を整備
- 馬毛島基地は年間通じて自衛隊が管理し、大半の時期を自衛隊が使用
 - ⇒ 要員の配備規模や訓練計画は、今後具体的に検討
 - ⇒ FCLPは、5月と8月に10日程度実施(準備を含め約1か月)



⇒ 自衛隊の訓練は、①他地域からの展開訓練、②島嶼防衛のための訓練、③災害対応のための訓練 を検討

○ **馬毛島基地へ配備される施設例(今後の調査を踏まえ検討)**

⇒ 滑走路、管制塔、庁舎、格納庫、隊舎、火薬庫、倉庫、燃料タンク、宿舎、港湾施設

○ **今後の調査内容**

- ⇒ 環境調査 (動植物や周辺海域におけるサンゴ類や藻場の調査)
- ⇒ 気象調査 (今後の施設配置の検討に必要な気象データの観測)
- ⇒ 測量調査 (陸域と海域の現況把握のための地形・深淺測量)
- ⇒ 土質・地下水調査 (陸上及び海上におけるボーリングや地下水調査)

○ **施設整備に要する期間は、現時点では確定していない。**

⇒ **調査・検討→環境アセスメント→工事→運用開始** の流れを想定

○ **航空機騒音は可能な限り種子島の上空を飛行しないよう調整し、漁業については影響を極力低減するよう検討し、実態に照らして適切な補償を実施**

▲ **防衛省の説明を受け、**

市長は、馬毛島には土地を含む様々な課題があることから、その**解決のため課題を整理し、今後、改めて国に対し確認作業を行っていく考えを示し、**

議長は、国が想定している**地元の範囲** (中種子町や南種子町、屋久島も西之表市と同等の取扱いなのか) や**住民説明会のあり方** について質問されました。

防衛省は、**地元の範囲は難しいとしつつも、西之表市に馬毛島が属しているのは非常に重いことであるとの認識を示し、また、住民に対しても誠実かつ丁寧な説明**をしていく旨回答しました。



■ **本市としましては、**

- * 国が FCLP の施設設置に向け、準備を進めている現状に変わりない。
- * 馬毛島の FCLP は現状では検討対象であり候補地のままである。
- * FCLP 施設設置を前提とした自衛隊基地整備への意欲を示しているが、FCLP がぼかされた形で進めている印象を受ける。
- * 今回の説明で土地取得状況や自衛隊基地整備方針まで踏み込んだものの、具体的な施設配備や再編事業など明らかになっていない。
- * 馬毛島の土地を巡る経過については問題が多く、その土地取得が進められていることに対し、行政として看過できない部分がある。
- * よって、改めて国に回答を求めていく必要がある。 と判断しています。

(12月20日報道発表コメント)

本市の市民間でも賛成・反対さまざま意見があり、**市民の分断は決してあってはならない**と考えています。

本市としましては、引き続き **FCLP 以外の馬毛島にふさわしい利活用案を追求**してまいります。

(※12月20日の市役所正門前の様子)

